

# あたらしい活動がはじまります！

- 2011年度、私たちは2つのプログラムをスタートしました。  
『どんぐりプロジェクト（プロジェクトD）』は、東日本大震災で傷ついた被災地復興を、  
『いきものみっけファーム』は、自然体験や食育の場の提供を目的とした事業です。  
それぞれの事業に共通することは、子どもたちが被災地や地域の環境を豊かに変えていく  
主人公であること、そして、様々な組織の協働によって営まれていることです。  
2012年度私たちは、みなさんとともに、2つの事業をより広く、より大きく育てていきます。

## プロジェクトD



東日本大震災被災地で大きな被害を受けた岩手県・宮城県・福島県の森林を全国の子どもたちが育てます。2011年度は、2,000人が参加し、1万個のどんぐりを蒔きました。

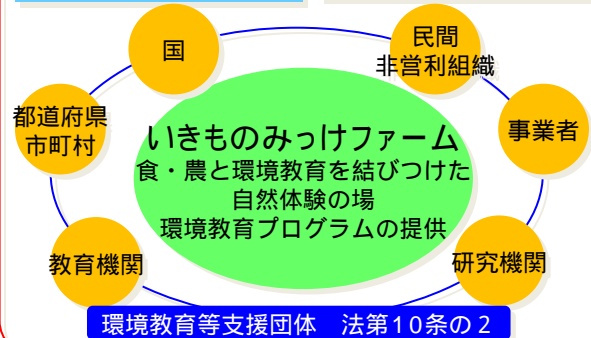
被災地で採取したどんぐりを、採取した県内に植え、遺伝子の攪乱を防止します。  
全国の子どもたちが、被災地の支援をしている実感を持ちながら行動します。  
震災の記憶や経験を風化させない思いを、被災地の子どもたちに届けます。  
子どもたちの生物多様性への理解が深まります。

## いきものみっけファーム

持続可能な社会の構築  
健全で恵み豊かな環境  
環境への負荷の少ない健全な経済の発展

環境保全活動    環境保全の意欲の増進    環境教育    協働取組

体験の機会のある場（認定） 法第20条    協働取組の協議会設置 法第21条の4



地域の産官学民の協働によって、体験型の農場を設置・運営し、生物多様性の保全や食・農にかかわる環境教育を行います。  
第一号が松本市で生まれました

農薬や化学肥料を減らして稲や野菜を子どもたちが育てる体験を行います。

子どもたちは、減農薬・無農薬の畑や田んぼで生物多様性を実感します。

子どもたちは、自分たちが育てた作物を地域で販売し、社会性を身につけます。

子どもたちは、自分たちが育てた作物を食べる経験を通じて、食べ物の環境負荷や日頃の食生活について考えます。